

第24回 宇宙航空研究開発機構 動物実験委員会
議事録

開催日：平成26年12月4日（木）15：00～17：00

場所：（一財）日本宇宙フォーラム 第1会議室
（東京・千代田区 アーバントリニティビル 2階）

出席委員：三好 寛委員長（JAXA）、久和 茂委員（東京大学）、片平 清昭委員（福島県立医科大学）、久原 孝俊委員（順天堂大学）、國田 智委員（自治医科大学）、小久保 年章委員（放射線医学総合研究所）、泉 龍太郎委員（日本大学/JAXA）、

欠席委員：、由利 伸子（サイティック・コミュニケーションズ）、森友 忠昭委員（日本大学）、石岡 憲昭委員（JAXA）

事務局：白川 正輝（JAXA）、湯本 茜（JAXA）、伏島 康男（JSF）

配布資料

【動実24-1】前回議事録（案）

【動実24-2】フォローアップ状況

【動実24-3】平成26年度 第1回メール委員会（審014-016 阿部健一郎）結果
平成26年度 第2回メール委員会（審014-002-008 白川正輝）結果

【動実24-4】平成26年度 迅速審査（5件）結果

【動実24-5】審査計画書一覧

【動実24-6】写真・動画・情報公開承認報告書

【動実24-7】動物実験計画書フォーマットの改訂

【動実24-8】動物実験に関する自己点検・評価、外部検証の今後の進め方について

【動実24-9】動物実験委員会要領（案）

【動実24-10】動物実験委員会関連スケジュール

議事概要

1. 前回議事録の確認

資料「前回議事録（案）」に基づき、事務局より第23回議事録（案）の確認が行われた。訂正・修正がある場合は本委員会終了後、または後日事務局まで連絡することで承認された。

2. 前回審査結果フォローアップ状況（報告）

資料「フォローアップ状況」に基づき、事務局から報告が行われた。

3. 平成26年度 メール委員会（2件）結果（報告）

資料「平成26年度 メール委員会」に基づき、事務局から報告が行われた。

4. 平成26年度 迅速審査（5件）結果（報告）

資料「平成26年度 迅速審査」に基づき、事務局から報告が行われた。

5. 動物実験計画の審議（審議）

資料「審査計画書」に基づき、「動物実験計画」について審議が行われた。各テーマに関する審査結果を以下に示す。

審 014-002-001B 白川正輝 判定「承認」

審 014-002-003B 白川正輝 判定「承認」

審 014-002-005C 白川正輝 判定「承認」

審 014-002-008B 白川正輝 判定「承認」

（コメント）

計画書本体も「2g 程度に低くなる→2g 程度減少する」に修正すること。

審 014-019 畑井啓吾 判定「条件付承認」

（条件）

①近年ドレイズ法と呼ばれるウサギを用いた眼球での毒性試験は、国際的批判を浴びウシ眼球での代替法に切り替わってきている。JAXA が国際的な機関であることを考慮し、国際的な動向を十分考慮しなければならない。再度、代替法が使用できるかを確認すること。

②目的の明確化（なぜ新規物質の毒性評価を動物実験で行う必要があるのか）、代替法が不可能であるという根拠を、明確に計画書に記載すること。

審 015-002 Satoru Takahashi 判定「条件付承認」

（条件）

下記記指摘事項の反映版をメールで各委員に確認すること。

- ・ p1 Contact No を記載すること。
- ・ p2 3C は、記入の必要がないのでチェックはせずこと。
- ・ p3 4 項の空欄部分は、該当箇所をチェックすること。
- ・ p6 SPF testing は、Health monitoring、Micro Biological monitoring などの記載を推奨する。
- ・ p7 C57BL/6J について、系統の決定根拠を再検討すること。
- ・ p6 不要な記載 (Prime mice) を削除すること。

6. 写真・動画・情報公開承認報告（報告）

資料「写真・動画・情報公開承認報告」に基づき、事務局から報告が行われた。

7. 動物実験計画書フォーマットの改訂（調整）

資料「動物実験計画書フォーマットの改訂」に基づき、事務局から説明がなされた後、調整が行われた。

8. 動物実験に関する自己点検・評価、外部検証の今後の進め方について（調整）

資料「動物実験に関する自己点検・評価、外部検証の今後の進め方について」に基づき、事務局から説明がなされた後、調整が行われた。

9. 動物実験委員会要領（案）

資料「動物実験委員会要領（案）」に基づき、事務局から説明が行われた。

以上